



## 校長室だより

学校と家庭・地域を結ぶ架け橋通信  
第12号 令和3年9月13日  
小美玉市立美野里中学校

### 「オンライン授業」で思うこと

オンライン授業が本格化して、1週間が経ちました。体調を崩さずに、家庭での時間を過ごせているでしょうか。

最初は、接続の段階から上手くいかないことが多く、職員室で問い合わせの電話がひっきりなしに鳴りました。しかし、2日目になり、3日目になるにつれ、明らかに電話の本数が減り、今ではスムーズに朝の会、授業ができるようになっていきます。

私も、各教室を回り、オンライン上で分割して映し出される子供たちの表情を見て、安全に、健康に生活できている様子に胸をなで下ろしています。モニターに映し出される子供たちは、健気に授業に取り組んでいます。見ているだけで、熱いものがこみ上げてきます。



舞台裏ではありますが、先生方の急ピッチの研修と授業準備にも頭が下がる思いです。「Meet」の使い方について、お互いに教え合ったり、教材を共同開発・共有したりしながら授業づくりをしている姿にも心打たれます。わけても、若手の先生方が強みを発揮して、オンライン授業を推進している姿に、頼もしさを感じます。

1週間オンライン授業を見ていて、私は、近未来を間近に見ている思いがしました。私がこれまでの教員人生で行ってきたものとは異なる授業が、目の前で展開されています。若手の先生に話を聞くと、今やっていること以上の使い方の提案もあり、さらなる可能性も感じました。

そうした中、思わぬ発見もありました。例えば、普段発表が苦手な生徒が、オンライン上だときちんと発言や発表、書き込みができたり、今までコロナ禍でできなかったアルトリコーダーの演奏が、思う存分できたりしています。本校では、先生方が挑戦してくださり、理科の実験や裁縫、絵画制作と鑑賞など、どんどん授業のバリエーションも広がっています。

一方、オンライン授業の限界もあります。複数人での話し合い活動や運動の実技など、オンラインではなかなか成立しない活動もあります。接続環境もまだまだ整備が必要です。

先生方は、オンライン授業の期間も、「勉強以外でも、何か不安に思っていることはないだろうか。」と生徒を想い、案じています。

ぜひ、何かあったら、相談してください。そして、健康管理に留意しながら、少しでも有意義な時間をつくってほしいと心から願っています。